

令和4年8月2日（火曜日）



日本音楽部門で優良賞を受賞した盛岡二箏曲部（同校提供、7月30日のリハーサル）

盛岡二箏曲部が優良賞 日本音楽部門



【東京支社】第46回全国高校総合文化祭東京大会第2日は1日、日本音楽部門の結果が発表され、盛岡二箏曲部は優良賞（5～8位相当）を受賞した。部員11人が表現した美しいメロディラインが評価された。

同部門は各都道府県の代表が参加し江戸川区の区総合文化センターで7月31、1の西日行われ、盛岡二は「三面の箏のための三つのエスキス」を31日に演奏。部長の中津山美海さん（3年）は「今までの練習の成果を出すことができて本当にうれしい。優良賞を頂くことができて驚いている」と語った。

同チームは1チーム5人の団体戦に出場し、畳の上で記憶力と集中力を研ぎ澄ませ他県チームと札を奪い合った。予選リーグで敗退し、決勝トーナメントには届かなかった。

一関一の岩淵陽愛さん（3年）は「岩手の競技人口がまだ少ないので、他県の選手と対戦できて学びが大きい」、花北青雲の戸田彩水さん（同）は「緊張したけれど、3年間の成果を発揮することができた」と振り返った。

（岩手日報）

この記事は岩手日報社の許諾を得て転載しています。